

## 【令和7年6月補正予算案知事記者会見】 6月5日

### ● 令和7年度6月補正予算案

補正予算額は86億円。内訳は、通常補正分11億円、社会資本整備に係る国庫認証増47億円、国の経済対策（令和6年度補正）等への対応分28億円。補正後の予算総額は5,216億円。

まず47億円と28億円、最後に通常補正の11億円の順で説明する。

#### 社会資本の整備に係る国庫認証増

国庫補助金の認証増に対応する予算。佐賀ジャンクション工事への着手、晴気川等の改修工事、鹿島駅周辺のロータリー整備、吉野ヶ里関連で9.2億円。

また、呼子港、伊万里港久原の浚渫工事が国から追加された。これらのうち、県で対応する予算が47億円。

#### 国の経済対策（R6国補正）等への対応

令和6年度の国の経済対策で繰り越したものが具体化され、6月補正で予算化した。

医療では、医療現場の処遇改善、病床数適正化への支援。

農業は、就農のためのハウス整備への支援に国庫を中心に組み立てた。

教育は、自公維新で3党合意された高校授業料無償化に対応する。新たに対象となった年収910万円以上の世帯への追加予算を含め28億円。

### ● 通常補正分 主な個別事業

#### 輸出関連企業の多角化を支援

県内は、部品などのサプライヤーを担うものづくり企業が多く、トランプ関税の影響を懸念する声があがっている。

現在、金融窓口を新設するなど取り組んでいるが、今後の対応力を高めるため、先手を打って支援策を用意した。専門家による伴走支援の強化、事業の多角化への支援、製造業の展示会出展への支援。これらにより、企業の経営力を強化したい。

#### 外国人材ドライバーが活躍できる佐賀県へ

令和6年3月、トラックドライバーの人材不足を解消するため、外国人特定技能に自動車運送業分野が追加された。先行事例を作るため、国際交流協会・自動車学校・トラック協会と連携し、タイから3名の技能実習生の受入れをモデル化する。

タイは、日本と同様に右ハンドル・左側通行であり、当県との親交が深い国。出入国から、免許の切替えや実地練習など運転にかかわる部分まで丁寧にフォローする。成功すればモデル化し、県内で横展開していく。

#### 祝増便 佐賀から気軽に上海・台北へ！

九州佐賀国際空港の利用客は、コロナ前を追い越す勢いで増加中。台北便は4月から、就航以来初となる週3便に増便。上海便は、7月6日から5年ぶりに週4便に増便する。

内訳はインバウンドが8～9割。県内のパスポート取得率は11%、全国比率の17.4%に比べ少ない。アウトバウンドを増やすための施策を航空会社と連携し実施する。新規パスポート取得者に向けた割引キャンペーン、学校交流の渡航費の支援など。アウトバウンドが増えると相互交流になり、さらに増便できる。そのための予算が1,300万円。

#### パラスポーツの輪をさらに広げる

- ・SAGA パラスポ 2025 実施競技を拡大

SAGA2024 でのパラスポーツの盛り上がりを維持するため、県独自の SAGA パラスポ 2025 を企画。当初予算で企画した3競技から、フライングディスク、バレーボール、パラリンピック種目のゴールボールを新たに追加する。

- ・身近な地域でのパラスポーツ活動を促進

スポーツ庁からの提案事業。特別支援学校在学中にパラスポーツを経験し、日常的に楽しむプログラム。国庫から全額支給される。

以上で900万円。

#### 西九州大学の新学部設置への支援

西九州大学は大学の魅力拡大のため、令和9年4月、佐賀キャンパス内に健康データ科学部（仮称）を新設する。佐賀市の支援が2億円。学びの選択肢を増やすため、県からも1億円を支援する。

#### 吉野ヶ里遺跡「クニのはじまり」研究プロジェクト

弥生時代、吉野ヶ里遺跡は鳥取県の妻木晩田遺跡（おきばんだいせき）や岡山県の津島遺跡と交流があった。しかし、定かでない部分もあるため、連携し共同研究することで、それぞれの遺跡の価値を再確認できると考えた。

鳥取県からの提案を受け、佐賀、鳥取、岡山で共同研究を始める。

##### **【研究例】**

- ・水田：日本最古とされる唐津の菜畑遺跡（なばたけいせき）から岡山の津島遺跡への稲作普及経路
- ・青銅器：同じ型を持つ吉野ヶ里遺跡と鳥取の青谷上寺地遺跡（あおやかみじちいせき）

との関係

・墳丘墓：吉野ヶ里と同じ弥生後期に作られた鳥取の四隅突出型墳丘墓（よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ）、岡山の楯築遺跡（たてつきいせき）の関係

今年の12月、佐賀で合同シンポジウムを開催予定。吉野ヶ里遺跡の特徴をさらに導き出したい。